

# とらいあんぐる



2018 年 9 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「他人の時計」

少し前の話になりますが、演出家の  
浅利けいた氏が亡くなりました。

演劇にそうくわしいわけではない私  
も、その名前はよく知っています。

劇団四季を立ち上げた人です。

日本にミュージカルの文化を根づか  
せた人でもあります。

今、活躍している俳優の多くが、浅  
利氏に大きな影響を受けてきたときい  
ています。

演劇界に多大な影響を残した人物と  
考えて良いでしょう。

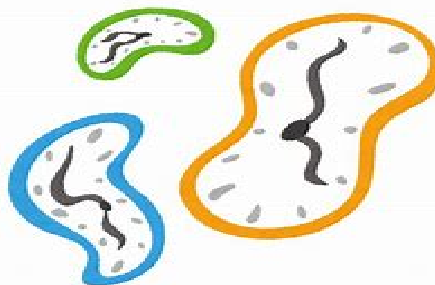
亡くなった時には、多くの有名な俳  
優がコメントを発表していました。

その中で何人かが、浅利氏が発した  
言葉の中で特に印象的だった言葉を挙  
げていました。

複数の方が同じ言葉を挙げていたの  
は、とても興味深いことでした。

その言葉は、こんな言葉でした。

「他人の時計をのぞくな」



演劇とはまったく無縁の私にも、その言葉の意味と重みは伝わります。

俳優という仕事は、かけた年数や努力が、そのまま結果につながるわけではありません。

俳優を志してすぐに大きな役に恵まれ、一躍、脚光をあびる人もいます。

その一方で、何年も何年も売れない時代をすごし、それでも注目をあびることができないままの人もいます。

成功の指標が知名度だとしたら、若くして大成功する人もいれば、後から入ってきた若い人にどんどん追い越されていく人もいます。

そこでは、年齢も、経験年数も、関係ありません。

しかも、演劇の世界、脚光をあびる人は、ほんのひとにぎりです。追い越され、焦る人の方が、圧倒的に多い世界なのだと思います。

浅利氏の言葉は、そんな焦りをおぼえる人に対して発せられた言葉のように思えます。

「他人の時計をのぞくな」

私の解釈にすぎませんが、浅利氏のメッセージはこうでしょう。

他人には他人の時間の進み方がある。おまえにはおまえの時間の進み方がある。

他人がどんどん進んでいるからといって、何を焦ることがある？

時間の進み方は、みなそれぞれだ。おまえはおまえの時間を進めるだけだ。

浅利氏のそのメッセージに励まされ、多くの俳優が努力を重ねたのでしょう。

結果的に成功をおさめた俳優が、今も浅利氏のその言葉を思い出すということは、彼らにもまた、「他人の時計」が気になる不遇の時代があったことを物語ります。

俳優の世界は、特に時計の進み方が人によって大きく異なる世界なのだと思います。

でも、俳優の世界とはまったく違う世界に身を置いている私にも、この言葉は響きます。

なぜだろう？と考えてみました。

そして、気がつきます。

私にも「他人の時計」が気になる時期があったじゃないか！

今の私は、もう「他人の時計」が気になりません。

年齢的に終焉が近づき、自分にできること、やり残したことを、1つずつ片付けるのみです。

私よりも「他人の時計」が気になって、焦燥にかられていたのは、子どもを出産した直後でした。

最初の子どもの持つまで、私は博士論文を執筆しながら、大学の非常勤講師をいくつか、かけもちしていました。研究もそこそこ順調でした。

それまでの人生、決して順風満帆と思っていたわけではありませんが、子どもが宿って始めて、自分の人生の歯車が思うように動かなくなっていく不安をおぼえるようになりました。

最初のきっかけは、妊娠を告げた途端、非常勤先の1つから、やんわりと解雇されたことだったように思います。

正確には「更新をしません」と告げられた、です。

非常勤講師と言えば、きこえは良いですが、要はパートです。任期の切れ目に更新してもらえない、ということがあっても、文句はいえません。

「たまたまである」と思おうとしました。でも、その後、同じようなことが、いくつもいくつも、立て続けにおこりました。

妊娠した女性は、こんなふうに簡単に社会から排除されるのか……。痛感しました。

私が話しているのは、20年近く前の話です。時代が違うのかもしれませんが。

でも、いまだに女子学生が医大の入試で差別を受けていたことを思えば、大きくは変わっていないようにも思います。

すべるようにレールを走っていた車輪が、なぜか突然まわらなくなり、気がつけば自分ごと、レールからはずさされている、そんな状態でした。

自分はこれまでと同じように走って  
いくつもりだったのに・・・。

でも、はずされた後、子どもを産ん  
でみて、やっぱり今までと同じように  
は走れないことに気づいてもしまいま  
す。

産むまで想像もつかなかったことが、  
たくさんありました。こんなにも、身  
動きがとれないものだとは！

「ああ、はずされるわけだ・・・」  
とってしまったのも事実です。

その時の感覚は、今思えば「自分の  
時計が止まってしまった」という感覚  
だったと思います。

他人の時計は、着実に動き続けている  
のに、私だけ、すべてが止まってし  
まった・・・そんな思いでした。

仕事も研究も、人生そのものも、で  
す。

そんな時、同じ研究者である夫は、  
業績の稼ぎ時である30代がはじまっ  
たばかり。毎日、忙しそうでした。そ  
して、とても充実しているようでした。

夫は、子どもの泣き声に思考を中断

されることもなく、子どものオムツを  
かえる必要もなく、自分の時計を進め  
ていました。

何もかも止まってしまった私の苦悩  
をよそに、夫の論文は、1本、また1  
本と、世に発表されていきました。

夜になって、1日、満足いく仕事が  
できた夫の満ち足りたような安らかな  
寝顔を見ると、私の焦りは頂点に達し  
ます。

「私は、子どもの世話だけで1日が  
終わってしまったというのに！」

夫をけとばしたくなることもしばし  
ばでした。

いえ、実際にけとばしたことも、あ  
ったかと思います。

夫が目を覚まさない程度にけとばし  
ていたので、夫はこのことを知りませ  
ん。

その時の私は、まさに「他人の時計  
をのぞいていた」のだと思います。

あのやり場のないどうしようもない  
焦りは、20年近く経った今も、昨日  
のこのように鮮明に思い出せます。

「とらいあんぐる」を読んでもう  
っている方で一番、多いのは、幼い生  
徒さんを教室に通わせてくださっている、若いお母さまです。

あの、私が寝ている夫をけとばして  
いた時代を、今、生きていらっしゃる  
人々だと思えば、先人として何か役に  
立つことをいわずにはいけない、と  
いう気持ちになります。

しかし、正直なところ、「あの時、ど  
うすれば良かったか」は、20年経っ  
ても、はっきりとした答えになりませ  
ん。

でもそんな中、1つ、強く思うこと  
は、あんなに焦ることはなかった、と  
いうことです。

私の焦りの元凶は、夫が同業者であ  
ったことだったかもしれません。

夫の時計は、私の時計と同じ“仕様”  
でした。「のぞくな」というのは、難し  
い話でした。

「他人の時計」をのぞきさえしなけ  
れば、あれほど焦ることはなかったか  
もしれない、と思うのです。

他人には他人の、自分には自分の時  
間の進み方があります。

あれから20年近く、私なりに時を  
進めてきた今、その実感があります。

あの時、けとばしてごめんと、今な  
ら夫にあやまれます。絶対あやまりま  
せんが。

「自分のペースで時間を進めれば良  
い」という浅利氏の言葉は、役者の世  
界だけでなく、人生の途上にいるすべ  
ての人へのメッセージかもしれません。

(江口 彩子)



## ◆ピアノ発表会では、ご協力をありがとうございました

8月3日から4日間にわたっておこなわれた「ピアノ発表会」が、無事、終わりました。

例年に増して暑い日々でしたが、たくさんの生徒さんが、スポットライトをあびて、すてきな演奏を披露してくださいました。

事故もなく、無事にすべての日程を終えることができましたのは、生徒さんやご家族の皆さまの、惜しみないご協力があったのでした。本当にありがとうございました。

今年は、例年よりも、客席にたくさんのお客さまがいらしてくださったように思いました。小さな生徒さんも、立派なお客さまになって、応援をがんばってくださいましたね。

一音会にはじめて足を運んだ方が、「演奏レベルの高さに、まず驚くが、客席の皆さんのマナーの良さにも感心した」と、おっしゃっていました。同感です。生徒さんやご家族の皆さんが、きちんとした方々であることは、一音会の自慢の1つです。

今年、出演生徒さんにお配りした金メダルの図柄は、鳳凰です。「あ、ニワトリだ！」とおっしゃっていた生徒さんがいたので、訂正しておきます。

鳳凰は、伝説の中の鳥ですが、「良いことがおこる前兆として姿をあらわす」と伝えられます。この夏、鳳凰を手にした生徒さんは、これからピアノがどんどん上手になるでしょう。鳳凰は、良いことの前ぶれです。その願いをこめて、お渡ししました。

発表会は終わりましたが、挑戦の日々は続きます。11月には、客員教授のダイアン・アンデルセン先生が来日されます(後の項を参照してください)。2019年1月、2月には、「ピアノ・トライ」をおこないます(次号で、くわしくお知らせします)。5月には、客員教授であるプリドノフ先生ご夫妻が来日され、オーディションをおこないます。

来年の「ピアノ発表会」は、2019年8月2日、3日、4日、5日の4日間です。

場所は、音響で定評のある「かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール」です。

挑戦のたびごとに、大きく成長される生徒さんの姿を見ることが、私たちスタッフにとって、最上の喜びです。



#### ◆ 「音楽の集い」を開きます

11月4日（日）に、「音楽の集い」を開きます。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。

実は、「音楽の集い」は今年、20周年をむかえます。初期の頃から、ずっとご参加くださった方もいらっしゃいます。長い歴史の中、たくさんの方々との出会いがありました。音楽を通じて知り合った方は、一瞬にして“仲間”です。

記念すべき今年、まだご参加になったことのない方も、ぜひご出演をお考えになってみませんか？ 会場に足をお運びいただけることも、嬉しいことです。ぜひ、「音楽の集い」を通じて、おとなの輪を広げましょう。

会場は「ひびきホール」です。時間等、詳細は、教室内のポスターで、お知らせいたします。

一音会でレッスンをお受けになっている方だけでなく、一音会にお通いの生徒さんご家族の方もご出演可能です。基本的にはピアノの発表会ですが、歌や他の楽器でも



ご参加いただけます。もちろん、連弾、アンサンブル、合唱も、大歓迎です。伴奏者が必要であれば、スタッフが伴奏いたしますので、ご遠慮なく本部までご相談ください。

また、一音会でレッスンをお受けになっていない方のご出演につきましても、私どもでお手伝いできることがあれば、おっしゃっていただきたいと考えております。単発のレッスンを、フリーコースと同じ扱いでお受けいただけるようにいたします。その場合、入会金は不要です。自己流で音楽をなさっている方、舞台に上がる前に、必要であればスタッフがご指導いたしますので、どうぞお気軽に、本部までご相談ください【本部：03-5966-7711（担当・森田）】。

演奏される方は参加費として、6500円をご負担いただきます。（DVD 希望の場合は1080円、追加でご負担ください）。聴きにいらっしゃる方に関しては、入場無料です。お気軽に足をお運びください。





## ◆客員教授ダイアン・アンデルセン先生が来日します

**Diane Andersen**

ブリュッセル王立音楽院名誉教授

世界の主要コンクールの審査員をつとめる他、世界中で演奏活動をおこなう。

シュテファン・アシュケナージ(リスト門下のエミール・ザウアーに師事)と同じ、オーストリア=ハンガリー・ピアノ楽派の流れを汲むピアニスト。

これまでに、“フーガ”・トロフィー(ベルギー作曲家連合)、ハリエット・コーエン・バッハ・メダル(ロンドン)、グランプリ・ディスク・アカデミー・シャルル・クロス(パリ)、カンヌ・インターナショナル・クラシック・ミュージック・アワード in 2003



等受賞。

ベラ・バルトックの友人で、ヴァイオリニストのアンドレ・ゲルトラーと数多くのコンサートを開き、バルトック作品解釈のオーソリティと言われている。

サバリッシュ 指揮者であるスイ

ス・ロマンド・オーケストラとのモーツァルト演奏、ブーレーズとのベルク作品、タンスマン自身とのピアノ・デュオも行う。コダーイとその夫人のマドレーヌ・ミヨールから20世紀の著名な音楽家との親交も深い。

プライベートレッスンとコンサートは、以下の日程で予定しています

レッスン : 11月21日(水)・24日(土)

コンサート : 11月23日(祝)

レッスンは、五線読譜が完成した生徒さんなら、どなたでも受けることができます。  
決して、大きな生徒さんや特に上手な生徒さんだけのためのものではありません。

担当の先生と相談して、ぜひ準備をすすめてください。ご不明の点やお迷いの点がおありでしたら、お気軽に本部にご相談ください【本部：03-5966-7711 (担当・谷口)】。

**30分レッスン……レッスン料 (12,500円) + 通訳 (2,500円) → 15,000円**

**45分レッスン……レッスン料 (18,750円) + 通訳 (3,750円) → 22,500円**

**60分レッスン……レッスン料 (25,000円) + 通訳 (5,000円) → 30,000円**

コンサートは、お一人でも多くの生徒さんにお越しいただきたく、レッスンのない日にしています。ぜひ、足をお運びください。

場所は、「ひびきホールです」。開演時間は未定ですが、17:00頃になる予定です。

チケットは、「ショパンはうす」受付で販売しています。ぜひお得な前売り券をご購入ください。

**中学生以上 2,000円 (前売り) 2,500円 (当日)**

**小学生以下 1,000円 (前売り) 1,300円 (当日)**

(※ アンデルセン先生のレッスンをお受けくださった生徒さんには、招待券をご家族人数分、プレゼントさせていただきます。レッスンを受けるご予約の生徒さんは、ご購入にならないよう、ご注意ください。)

\*\*\*\*\*

\*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[1000@ichionkai.co.jp](mailto:1000@ichionkai.co.jp)      電話：03-3954-9999

\*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

\*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。